
「さよならの風景」のラフスケッチ

谷津矢車

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「さよならの風景」のラフスケッチ

【Nコード】

N1464C

【作者名】

谷津矢車

【あらすじ】

詩です。詳しくは本編をお読みください。読むのに時間はかかりませんから。

(前書き)

詩です。

さよなら。

そのあなたの一言が、私の心の一番奥の、ホイップみたいに柔らかいところを、何の前触れも無く貫いた。

痛い。痛いよ。

あなたに言いたい事はたくさんあった。いいえ、まだまだたくさんある。

あなたのためにしか使わない言葉たち。あなたが聞いてくれなくちゃ意味を成さない言葉。

．．．．．
“大好き” “またね” “あなたしか見えない” ．．

それらのすべてが、その本来の意味を失い、色を失った。

色を失った言葉たちは、小さな小さな棘になって私の心をチクチクとつつく。

そしてあなたが作った大きな傷を、さらに広げる。

痛い。痛いよ。

あなたの「さよなら」が。わたしの「言葉」が。

痛い。

だから、私はあなたに言いたい。あのとき、あなたに言いそびれた言葉を。

あなたが、私に「さよなら」って言ったときに、心の中でぐるぐる回って、結局吐き出せなかった言葉を。

これは、あなたのための言葉じゃないの。

私のために、私の心がつむいだ言葉。

だから今、あなたがここにいらなくても、言える。

「さよなら。」

あなたのために、私がつむいだ言葉たちに、さよなら。

窓の外は涙雨。

でも私は泣かない。もう、泣かない。

「さよなら。」

(後書き)

出来れば感想など下さると光栄です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1464c/>

「さよならの風景」のラフスケッチ

2010年10月9日02時12分発行